

[資 料]

「子どものからだの調査 '95」の結果報告

阿部茂明*・野田 耕*・正木健雄*

(平成7年10月12日受付, 平成8年2月19日受理)

A Report on the Results of a Questionnaire on the Teachers' or the
Yogokyoyous' Feeling According to the "Abnormalities" in
Physical Function on the Japanese Children
and the Youth in 1995

Shigeaki ABE, Koh NODA and Takeo MASAKI

目 的

子どものからだのおかしさについて、保育や教育の現場で実感されていることを調査した結果は、子どものからだの陰りの実体やからだの変化をとらえるのに有効であり、見当違いの対策や取り組みを正し、からだの変化にかみあった適切な対策を立てるのに非常に役立ったと、われわれは考えている。

前回の調査から既に5年を経過し、定時観測の時期になったので、子どものからだのおかしさがどのように推移しているかを明らかにするため、現場の実感について継続調査を行うことを本調査の目的とした。

方 法

実感調査の項目

前回の調査における回答状況とその後の問題状況を考慮して、調査項目を2項目(平熱37度以上の子、胸郭異常の子)ふやし、乳幼児用の調査を42項目、児童・生徒用の調査を55項目とした。(本稿末尾各調査用紙参照)また、調査内容を4群に分けた。

- 1) からだの活動性
- 2) からだの防御性
- 3) 直立姿勢や動作
- 4) 疾病・けが、その他

調査の方法

都道府県毎に無作為に抽出した対象園ならびに学校に対して、調査用紙を郵送し、現場での実感に基づいて、“最近ふえている”、“変わらない”、“減っている”、“いな

い”、“わからない”を選択回答してもらい、郵送により回収した。

調査対象数と回収数ならびに回収率

	対象数	回収数	回収率
保育所	259 園	64 園	24.7%
幼稚園	512 園	115 園	22.5%
小学校	854 校	192 校	22.5%
中学校	507 校	121 校	23.9%
高等学校	403 校	107 校	26.6%
〈合計〉	2,535 校	599 校	23.6%

調査期間

1995年3月18日～5月31日

調査結果

〈最近ふえてきているからだのおかしさ・ワースト・5〉

回収されたアンケートで、からだのおかしさが“最近ふえている”と回答された者が多い順に、上位5項目をワースト・5として示すと、次表1～5のようになる。また比較のため17年前に“最近ふえている”と回答したワースト・5、および5年前に“最近ふえている”と回答したワースト・5も加えた。(調査結果全体については、本稿末尾結果表1～5参照)。

考 察

最近の子どものからだがかどこかおかしいといわれ、17年前(1978年)に学校や保育の現場で実感されている

* 学校体育研究室

表1 保育所

1995		1990		1979	
1. アレルギー	87.5	1. アレルギー	79.9	1. むし歯	24.2
2. 皮膚がかさかさ	81.3	2. 皮膚がかさかさ	76.4	2. 背中ぐにゃ	11.3
3. すぐ「疲れた」という	76.6	3. 背中ぐにゃ	67.7	3. すぐ「疲れた」という	10.5
4. そしゃく力が弱い	71.9	4. すぐ「疲れた」という	63.3	4. 朝からあくび	8.1
5. 背中ぐにゃ	70.3	5. そしゃく力が弱い	59.4	5. 指吸い	7.2

(数値は全て%)

表2 幼稚園

1995		1990	
1. アレルギー	74.8	1. アレルギー	72.3
2. すぐ「疲れた」という	73.9	2. 皮膚がかさかさ	68.0
3. 皮膚がかさかさ	68.7	3. すぐ「疲れた」という	57.8
4. 背中ぐにゃ	56.5	4. ぜんそく	54.9
5. ぜんそく	53.0	5. 背中ぐにゃ	53.4

(数値は全て%)

表3 小学校

1995		1990		1978	
1. アレルギー	88.0	1. アレルギー	87.3	1. 背中ぐにゃ	44
2. すぐ「疲れた」という	77.6	2. 皮膚がかさかさ	72.6	2. 朝からあくび	31
3. 視力が低い	76.6	3. すぐ「疲れた」という	71.6	3. アレルギー	26
4. 皮膚がかさかさ	71.4	4. 歯並び悪い	69.9	4. 背すじがおかしい	23
5. 歯並び悪い	70.8	5. 視力が低い	98.9	5. 朝礼でボタン	22

(数値は全て%)

表4 中学校

1995		1990		1978	
1. アレルギー	87.6	1. アレルギー	90.8	1. 朝礼でボタン	43
2. 視力が低い	84.3	2. すぐ「疲れた」という	83.8	2. 背中ぐにゃ	37
3. すぐ「疲れた」という	71.9	3. 視力が低い	78.1	3. 朝からあくび	30
4. 腹痛・頭痛を訴える	71.1	4. 腹痛・頭痛を訴える	75.9	3. アレルギー	30
5. 不登校	70.2	5. 不登校	74.6	5. 肩こり	27
5. 平熱 36 度未満	70.2				

(数値は全て%)

表5 高等学校

1995		1990		1978	
1. アレルギー	88.8	1. アレルギー	83.0	1. 腰痛	40
2. 腰痛	80.4	2. すぐ「疲れた」という	75.9	2. 背中ぐにゃ	31
3. 腹痛・頭痛を訴える	76.6	3. 腹痛・頭痛を訴える	75.0	2. 朝礼でボタン	31
4. すぐ「疲れた」という	74.8	4. 視力が低い	67.0	4. 肩こり	28
5. 首・肩のこり	73.8	5. 腰痛	66.5	4. 貧血	28

(数値は全て%)

“からだのおかしさ”が全国調査された。また、この調査に至るまで5回の全国調査が行われたが、全体的に比較できるのは、1978年調査（保育所は1979年調査）、1990年調査、そして今回の1995年調査の三つである。今回の調査の特徴を、ここでは“最近ふえている”からだのおかしさに注目して見ることにする。

90年代の子どもの“からだのおかしさ”は依然変わらない

前回（1990年）調査での特徴のひとつは、全学校段階でからだのおかしさのトップ項目に「アレルギー」が上がったことであった。今回の調査でも、「アレルギー」がトップ（ワースト・ワン）であり、依然として「アレルギー」が増え続けていることを予想させる。

また、ワースト・5の項目を見ると、保育所、幼稚園、小学校、中学校といずれも同じ項目が、からだのおかしさとして実感されており、同質の問題状況が依然として続いていることを予想させた。

保育所、幼稚園、小学校、高校での回答頻度は、全体的に上昇していたが、中学校では前回の調査と同じ程度であった。

このように、90年代に入っても子どもの“からだのおかしさ”は同じ方向に進行しているが、これらの事象がさらに多く実感されており、子どものからだの事態はくいとめられているどころか、一層深刻なものとなっていると予想される。

各学校段階的にみて“からだのおかしさ”の項目は共通している

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校の全段階で「アレルギー」と「すぐ“疲れた”という」項目は、実感の上位グループで共通しているものであった。「すぐ“疲れた”という」項目は、1979年調査から加えられ、いつも上位を占めていた不気味な事象である。この実体は体力不足ではないが、実体はいまだ不明である。

もう少し順位を下げて、ワースト・10までの範囲でみると、保育所、幼稚園、小学校にかけて共通している項目は「背中ぐにゃ」と「皮膚がカサカサ」であった。

また、小学校、中学校にかけての共通項目は、「歯並びが悪い」であった。

また、中学校、高校にかけての共通項目は、「不登校」「首、肩のこり」「腰痛」の3項目であった。

小学校、中学校、高校の段階にかけての共通項目は、「視力が弱い」「腹痛・頭痛を訴える」「平熱36度未満」の3項目であった。

以上のように、各学校段階を越えて共通して“最近ふえている”と実感されている「からだのおかしさ」の項目は、次の11項目であった。したがって、子どもの健康上の問題として疾病については「アレルギー」と「視力不良」が一層進行し、さらに疲労と体調不良、またからだの諸機能の発達不全が全身的に進行していると予想される。これらの問題に対して緊急に、かつそれぞれに対応する措置が必要であると考えられる。

(事象)	(予想される実体)
1. アレルギー	A. アレルギー
2. 皮膚がカサカサ	
3. すぐ「疲れた」という	B. 疲労、体調不良、自律神経失調傾向
4. 腹痛、頭痛を訴える	
5. 不登校	
6. 首、肩のこり	
7. 背中ぐにゃ	C. 姿勢不良（発動意志と体幹筋力の低下）
8. 腰痛	
9. 歯並びが悪い	D. 口腔の発達不良
10. 視力が低い	E. 視機能の低下、発達の歪みと遅れ
11. 平熱36度未満	F. 体温調節機能の発達不全

本調査の結果からの提言

昨年の1994年は、日本において「子どもの権利条約」が発効になった記念すべき年である。「子どもの権利条約」がおとなに期待することは、子どもの健康の水準を最高に高めることである。

ところが近年、アレルギーと視力不良、疲労と体調不良、そしてからだの諸機能の発達不全が全身的に進行していたが、本調査からこの方向への変化が一向にくいとめられず、これ以上放置できないところまできているということが予想された。

そもそも、わが国で「視力不良」が増えはじめるのが1974年からであり、また中学校において「学校嫌い」が増加傾向に転ずるのが1976年からであるが、子どもの“からだのおかしさ”の事象が広く実感されるようになったのが1970年代中頃からである。

われわれは、これらは同じ根っこの問題ととらえているので、“からだのおかしさ”の事象のなかで、どれかの進行をくいとめることができれば、そしてその方法が明らかになれば、他の問題を解決する糸口がつかめるものと考えている。

提言1. 西暦2000年までに、“からだのおかしさ”の進行をくいとめよう。21世紀の子どもたちへの最大の

贈物として、たとえば20年前の子どもたちのように「すぐ“疲れた”という」子がいないようにしましょう。

提言2. 特に、防衛体力を向上させ、感覚諸器官を発達させることを目指し、「子どものからだづくり、地域(学校、家庭)行動計画・4カ年計画」を、子どもの意見を聞いてつくりよう。

提言3. 緊急に次の措置をとろう。

ア. アレルギー検査を無料で、希望者に実施し、適切な対応をとろう。

イ. 裸眼視力の正確な検査を復活させ、視力低下の原因をつきとめ、適切な対応をとろう。

ウ. 防衛体力向上への取り組みの知恵を集め、意図的に取り組みを進めよう。特に、小学校には体育の専科教員を配置しよう。

提言4. 子どもの権利条約をわが国で誠実に具体化

させるために、子どものからだと心、子どもの権利の現状と課題を明らかにし、権利を向上させる取り組みの成果を集約することを目的にした「国立子ども研究所」(仮称)を青少年育成を担当している総理府につくりよう。

謝 辞

年度末の最も忙しい時期に、本調査に御協力いただいた保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校の方々に厚く御礼を申し上げます。

付記) 速報的にまた紹介的に以下の文献に報告した。

- 1) 阿部茂明: 17年間子どもの“からだのおかしさ”を追って—「子どものからだの調査'95」速報—; 保健室: pp. 3-11, No. 58, 1995, 8.
- 2) 阿部茂明: 「子どものからだ調査'95」—保育・教育現場における実感の変化—; 子ども白書・1995年版: pp. 132-133, 1995. 7. 28.

子どものからだの調査'95

〈結果表 1〉

保育園 (64 園)

(数字は%)

からだの活動性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
朝からあくびをする子	51.6	37.5	3.1	6.3	1.6	0.0
保育時間中、目がトロンとしている子	39.1	43.8	0.0	17.2	0.0	0.0
遊び時間の時など、ボーッとして何もしない子	28.1	43.8	7.8	20.3	0.0	0.0
あまり汗をかかない子	29.7	46.9	1.6	10.9	10.9	0.0
すぐに「疲れた」という子	76.6	20.3	0.0	3.1	0.0	0.0

(数字は%)

からだの防御性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
転んで手が出ない子	48.4	43.8	4.7	3.1	0.0	0.0
まばたきがにぶい子	18.8	29.7	1.6	31.3	18.8	0.0
ボールが目にあたる子	14.1	37.5	1.6	34.4	12.5	0.0

(数字は%)

直立姿勢や動作	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
椅子に座っている時、背もたれによりかかったり、ほおづえをついたりして、ぐにゃぐにゃになる子	70.3	25.0	1.6	3.1	0.0	0.0
「気をつけ」の姿勢の時、腹が前にでっばっている子	15.6	48.4	1.6	17.2	17.2	0.0
まっすぐな姿勢をした時、肩甲骨の左右の高さやでっぱり具合が対称的でない子	9.4	32.8	0.0	34.4	23.4	0.0
肩甲骨の左右の大きさにちがいがあがる子	7.8	20.3	0.0	43.8	28.1	0.0
脊柱異常とまではいなくても、背すじがおかしい子	14.1	29.7	0.0	39.1	17.1	0.0
つまづいてよく転ぶ子	54.7	39.1	1.6	4.7	0.0	0.0
内またのためによく転ぶ子	15.6	51.6	1.6	25.0	6.3	0.0
すぐ疲れて歩けなくなる子	51.6	34.4	0.0	14.1	0.0	0.0
まっすぐに走れない子	18.8	45.3	0.0	28.1	7.8	0.0
棒のぼりで足うらを使えない子	40.6	35.9	0.0	4.7	18.8	0.0
力が入りすぎて、ちょうどよい力で動作ができない子	23.4	50.0	1.6	10.9	14.1	0.0

(数字は%)

病気・けが・その他	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
平熱が36度未満の子	39.1	40.6	1.6	10.9	4.7	3.1
平熱が37度以上の子	14.1	56.3	6.3	17.2	4.7	1.6
奇声を発する子	42.2	28.1	0.0	26.6	3.1	0.0
指吸いの子	32.8	64.1	0.0	1.6	0.0	1.6
爪かみの子	32.8	43.8	7.8	15.6	0.0	0.0
よく腹痛や頭痛を訴えてくる子	45.3	40.6	1.6	12.5	0.0	0.0
そしゃく力が弱く、食物を飲み込んでしまう子	71.9	25.0	1.6	1.6	0.0	0.0
自分で症状を説明できない子	18.8	59.4	4.7	17.2	0.0	0.0
首すじがはったり、肩がこっている子	7.8	14.1	1.6	45.3	31.3	0.0
歯ならびの悪い子	42.2	35.9	4.7	35.9	0.0	1.6
歯ぐきの色がおかしい子	7.8	35.9	3.1	35.9	15.6	1.6
聴力の弱い子	20.3	35.9	0.0	34.4	9.4	0.0
異常と思われる肥満の子	12.5	23.4	1.6	62.5	0.0	0.0
鼻炎でプールに入れない子	6.3	23.4	1.6	68.8	0.0	0.0
鼻血が出やすい子	40.6	53.1	0.0	6.3	0.0	0.0
アレルギー性疾患の子	87.5	9.4	0.0	3.1	0.0	0.0
皮膚がかさかさの子	81.3	17.2	0.0	0.0	1.6	0.0
ぜんそくの子	54.7	40.6	0.0	4.7	0.0	0.0
胸郭異常の子	4.7	26.6	1.6	57.8	9.4	0.0
ちょっとしたことで骨折する子	20.3	23.4	3.1	53.1	0.0	0.0
骨折しても痛みを訴えない子	3.1	17.2	0.0	68.8	10.9	0.0
夜寝ている時、膝などの関節が痛くて眠れない子	17.2	10.9	0.0	54.7	17.2	0.0
オスグート・シュラッテル病 (膝の骨の異常発育で痛む)の子	3.1	7.8	0.0	73.4	15.6	0.0

子どものからだの調査'95

〈結果表2〉

幼稚園（115園）

（数字は％）

からだの活動性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
朝からあくびをする子	47.0	30.4	3.5	15.7	1.7	1.7
保育時間中、目がトロンとしている子	26.1	43.5	2.6	25.2	0.9	1.7
遊び時間の時など、ボーッとして何もしない子	19.1	35.7	5.2	36.5	1.7	1.7
あまり汗をかかない子	15.7	50.4	3.5	18.3	10.4	1.7
すぐに「疲れた」という子	73.9	13.0	3.5	7.8	0.0	1.7

（数字は％）

からだの防御性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
転んで手が出ない子	43.5	32.2	2.6	18.3	1.7	1.7
まばたきがにぶい子	5.2	33.0	1.7	34.8	23.5	1.7
ボールが目にあたる子	16.5	37.4	2.6	28.7	13.0	1.7

（数字は％）

直立姿勢や動作	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
椅子に座っている時、背もたれによりかかったり、ほおづえをついたりして、ぐにゃぐにゃになる子	56.5	20.9	3.5	14.8	2.6	1.7
「気をつけ」の姿勢の時、腹が前にでっばっている子	14.8	38.3	3.5	32.2	9.6	1.7
まっすぐな姿勢をした時、肩甲骨の左右の高さやでっぱり具合が対称的でない子	8.7	28.7	0.0	36.5	24.3	1.7
肩甲骨の左右の大きさにちがいがあの子	1.7	23.5	0.9	44.3	27.8	1.7
脊柱異常とまではいなくても、背すじがおかしい子	8.7	25.2	0.9	47.8	14.8	2.6
つまづいてよく転ぶ子	52.2	28.7	1.7	13.9	0.9	2.6
内またのためによく転ぶ子	16.5	37.4	0.9	36.5	6.1	2.6
すぐ疲れて歩けなくなる子	47.0	20.0	4.3	25.2	0.9	2.6
まっすぐに走れない子	19.1	27.8	3.5	38.3	7.8	3.5
棒のぼりで足うらを使えない子	36.5	23.5	1.7	15.7	20.0	2.6
力が入りすぎて、ちょうどよい力で動作ができない子	19.1	36.5	3.5	30.4	7.8	2.6

(数字は%)

病気・けが・その他	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
平熱が36度未満の子	29.6	26.1	0.9	9.6	31.3	2.6
平熱が37度以上の子	4.3	27.0	2.6	29.6	31.3	5.2
奇声を発する子	25.2	31.3	6.1	34.8	0.0	2.6
指吸いの子	25.2	49.6	9.6	13.0	0.0	2.6
爪かみの子	20.0	47.8	9.6	20.0	0.0	2.6
よく腹痛や頭痛を訴えてくる子	41.7	35.7	2.6	15.7	0.9	3.5
そしゃく力が弱く、食物を飲み込んでしまう子	41.7	27.8	0.9	20.9	6.1	2.6
自分で症状を説明できない子	24.3	42.6	5.2	23.5	1.7	2.6
首すじがはったり、肩がこっている子	6.1	18.3	0.9	48.7	23.5	2.6
歯ならびの悪い子	31.3	34.8	8.7	18.3	4.3	2.6
歯ぐきの色がおかしい子	6.1	27.8	1.7	43.5	18.3	2.6
聴力の弱い子	20.0	29.6	2.6	33.0	12.2	2.6
異常と思われる肥満の子	15.7	27.8	5.2	47.0	1.7	2.6
鼻炎でプールに入れない子	8.7	27.8	1.7	52.2	7.0	2.6
鼻血が出やすい子	40.0	40.0	2.6	12.2	2.6	2.6
アレルギー性疾患の子	74.8	16.5	1.7	4.3	0.0	2.6
皮膚がかさかさの子	68.7	20.0	0.0	7.0	0.9	3.5
ぜんそくの子	53.0	31.3	0.9	11.3	0.9	2.6
胸郭異常の子	5.2	29.6	0.9	51.3	10.4	2.6
ちょっとしたことで骨折する子	28.7	21.7	1.7	39.1	6.1	2.6
骨折しても痛みを訴えない子	7.0	13.9	1.7	57.4	17.4	2.6
夜寝ている時、膝などの関節が痛くて眠れない子	14.8	14.8	0.0	33.0	33.9	3.5
オスグート・シュラッテル病 (膝の骨の異常発育で痛む)の子	7.0	10.4	0.0	57.4	21.7	3.5

子どものからだの調査'95

〈結果表3〉

小学校（192校）

（数字は％）

からだの活動性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
朝からあくびをする子	34.9	51.0	1.6	4.2	7.8	0.5
授業中、目がトロンとしている子	25.5	49.0	3.6	5.7	15.6	0.5
授業中、居眠りをする子	12.5	42.7	2.1	25.5	16.7	0.5
保健室にねむりにくる子	39.1	31.3	4.2	24.0	1.0	0.5
遊び時間の時など、ボーッとして何もしない子	30.2	35.4	3.4	19.8	10.9	0.5
あまり汗をかかない子	21.4	37.5	2.1	8.9	29.2	1.0
すぐに「疲れた」という子	77.6	18.8	0.5	1.6	1.0	0.5

（数字は％）

からだの防御性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
転んで手が出ない子	55.7	37.0	0.5	3.1	3.1	0.5
まばたきがぶい子	21.4	41.1	0.5	11.5	25.0	0.5
ボールが目にあたる子	52.1	37.0	2.6	5.2	2.6	0.5

（数字は％）

直立姿勢や動作	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
椅子に座っている時、背もたれによりかかったり、ほおづえをついたりして、ぐにゃぐにゃになる子	69.3	24.0	1.6	1.0	3.6	0.5
「気をつけ」の姿勢の時、腹が前にでっばっている子	30.7	46.4	1.6	6.8	14.1	0.5
まっすぐな姿勢をした時、肩甲骨の左右の高さやでっばり具合が対称的でない子	20.8	52.6	2.6	10.4	13.0	0.5
肩甲骨の左右の大きさにちがいがあがる子	8.9	43.2	1.6	18.8	27.1	0.5
脊柱異常とまではいなくても、背すじがおかしい子	24.5	46.4	2.6	15.1	10.4	1.0
つまづいてよく転ぶ子	38.5	47.9	2.6	6.8	3.6	0.5
内またのためによく転ぶ子	5.7	32.3	3.1	29.7	28.1	1.0
すぐ疲れて歩けなくなる子	30.2	39.6	2.1	15.6	12.0	0.5
まっすぐに走れない子	9.4	36.5	2.1	28.1	23.4	0.5
棒のぼりで足うらを使えない子	28.1	25.5	0.0	4.7	41.1	0.5
力が入りすぎて、ちょうどよい力で動作ができない子	19.3	27.1	0.0	16.7	35.9	1.0

(数字は%)

病気・けが・その他	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
平熱が36度未満の子	60.4	30.2	0.0	2.1	6.8	0.5
平熱が37度以上の子	11.5	39.1	8.3	22.9	17.7	0.5
奇声を発する子	20.3	35.4	4.2	27.6	12.0	0.5
指吸いの子	10.9	46.4	4.7	24.5	13.0	0.5
爪かみの子	21.9	54.7	6.3	6.8	9.9	0.5
よく腹痛や頭痛を訴えてくる子	66.7	28.6	1.6	1.0	1.0	1.0
そしゃく力が弱く、食物を飲み込んでしまう子	35.4	22.4	0.0	7.3	33.9	1.0
自分で症状を説明できない子	63.5	28.1	1.6	5.2	0.5	1.0
首すじがはったり、肩がこっている子	47.9	27.6	0.5	10.4	13.0	0.5
歯ならびの悪い子	70.8	24.0	2.6	0.5	1.6	0.5
歯ぐきの色がおかしい子	38.0	34.4	1.6	8.9	16.7	0.5
聴力の弱い子	9.9	65.6	1.0	18.2	4.7	0.5
異常と思われる肥満の子	39.1	35.9	7.8	13.5	3.1	0.5
鼻炎でプールに入れない子	8.3	38.0	1.0	47.9	4.2	0.5
鼻血が出やすい子	39.1	49.5	3.6	6.3	1.0	0.5
アレルギー性疾患の子	88.0	9.9	0.5	1.0	0.0	0.5
皮膚がかさかさの子	71.4	25.0	2.1	0.5	0.5	0.5
ぜんそくの子	51.6	43.8	2.1	0.5	1.0	1.0
胸郭異常の子	5.2	51.0	5.7	28.6	8.3	1.0
ちょっとしたことで骨折する子	55.2	34.9	0.5	6.3	2.6	0.5
骨折しても痛みを訴えない子	20.8	29.7	0.0	35.9	13.0	0.5
夜寝ている時、膝などの関節が痛くて眠れない子	9.4	14.6	0.5	33.3	41.7	0.5
オスグート・シュラッテル病 (膝の骨の異常発育で痛む)の子	21.9	28.1	2.1	37.0	10.4	0.5
朝礼の時などにうずくまったり、倒れる子	16.7	56.3	8.9	16.7	1.0	0.5
視力の低い子	76.6	20.8	1.0	1.0	0.0	0.5
左右の視力がひどくアンバランスな子	46.4	43.2	0.5	7.8	1.0	1.0
貧血の子	13.0	46.4	4.7	18.2	17.2	0.5
高血圧や動脈硬化の子	4.2	11.5	0.5	45.3	37.5	1.0
心臓病の子	8.9	61.5	2.6	21.9	4.7	0.5
糖尿病の子	4.2	14.1	1.0	72.9	7.3	0.5
神経性胃かいようや十二指腸かいようの子	7.3	10.4	1.6	66.7	13.5	0.5
脚気の子	0.5	6.3	2.6	78.1	12.0	0.5
腰痛の子	20.8	21.9	2.1	47.4	6.8	1.0
不登校(登校拒否を含む)の子	44.3	20.8	0.5	32.8	1.6	0.0

子どものからだの調査'95

〈結果表4〉

中学校（121校）

（数字は％）

からだの活動性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
朝からあくびをする子	37.2	47.1	0.8	3.3	9.1	2.5
授業中、目がトロンとしている子	29.8	51.2	2.5	1.7	13.2	1.7
授業中、居眠りをする子	36.4	41.3	4.1	6.6	9.1	2.5
保健室にねむりにくる子	33.9	41.3	4.1	17.4	0.8	2.5
遊び時間の時など、ボーッとして何もしない子	19.8	44.6	5.0	13.2	15.7	1.7
あまり汗をかかない子	19.8	42.1	2.5	7.4	27.3	0.8
すぐに「疲れた」という子	71.9	19.8	1.7	1.7	4.1	0.8

（数字は％）

からだの防御性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
転んで手が出ない子	33.1	42.1	2.5	12.4	9.1	0.8
まばたきがにぶい子	11.6	38.0	1.7	17.4	30.6	0.8
ボールが目にあたる子	38.0	38.0	4.1	9.9	9.1	0.8

（数字は％）

直立姿勢や動作	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
椅子に座っている時、背もたれによりかかったり、ほおづえをついたりして、ぐにゃぐにゃになる子	57.0	30.6	1.7	5.8	4.1	0.8
「気をつけ」の姿勢の時、腹が前にでっぱっている子	15.7	51.2	0.8	12.4	18.2	1.7
まっすぐな姿勢をした時、肩甲骨の左右の高さやでっぱり具合が対称的でない子	19.0	58.7	2.5	8.3	9.9	1.7
肩甲骨の左右の大きさにちがいがある子	12.4	47.1	3.3	16.5	19.8	0.8
脊柱異常とまではいなくても、背すじがおかしい子	33.9	43.0	2.5	14.9	4.1	1.7
つまづいてよく転ぶ子	27.3	39.7	2.5	17.4	12.4	0.8
内またのためによく転ぶ子	2.5	29.8	1.7	35.5	29.8	0.8
すぐ疲れて歩けなくなる子	15.7	33.1	1.7	32.2	14.9	2.5
まっすぐに走れない子	2.5	34.7	1.7	37.2	23.1	0.8
棒のほりで足うらを使えない子	8.3	14.0	0.0	8.3	68.6	0.8
力が入りすぎて、ちょうどよい力で動作ができない子	16.5	29.8	0.0	17.4	35.5	0.8

(数字は%)

病気・けが・その他	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
平熱が36度未満の子	70.2	19.0	0.0	0.0	9.9	0.8
平熱が37度以上の子	9.1	34.7	15.7	22.3	16.5	1.7
奇声を発する子	14.0	28.9	5.8	43.0	7.4	0.8
指吸いの子	1.7	18.2	1.7	62.8	14.9	0.8
爪かみの子	7.4	44.6	8.3	24.8	14.0	0.8
よく腹痛や頭痛を訴えてくる子	71.1	24.8	3.3	0.0	0.0	0.8
そしゃく力が弱く、食物を飲み込んでしまう子	22.3	20.7	0.8	13.2	42.1	0.8
自分で症状を説明できない子	52.9	36.4	3.3	6.6	0.0	0.8
首すじがはったり、肩がこっている子	69.4	24.0	0.0	1.7	4.1	0.8
歯ならびの悪い子	59.5	33.1	5.0	0.0	1.7	0.8
歯ぐきの色がおかしい子	39.7	44.6	1.7	5.8	7.4	0.8
聴力の弱い子	9.1	71.1	4.1	10.7	4.1	0.8
異常と思われる肥満の子	24.0	55.4	6.6	11.6	1.7	0.8
鼻炎でプールに入れない子	7.4	35.5	3.3	38.8	13.2	1.7
鼻血が出やすい子	29.8	58.7	5.0	4.1	1.7	0.8
アレルギー性疾患の子	87.6	10.7	0.0	0.0	0.8	0.8
皮膚がかさかさの子	58.7	33.1	1.7	1.7	3.3	1.7
ぜんそくの子	42.1	51.2	3.3	1.7	0.8	0.8
胸郭異常の子	5.0	57.0	5.8	23.1	8.3	0.8
ちょっとしたことで骨折する子	63.6	30.6	0.0	5.0	0.0	0.8
骨折しても痛みを訴えない子	14.0	33.9	4.1	37.2	9.1	1.7
夜寝ている時、膝などの関節が痛くて眠れない子	5.8	28.1	2.5	34.7	28.1	0.8
オスグート・シュラッテル病 (膝の骨の異常発育で痛む)の子	45.5	40.5	5.8	5.0	2.5	0.8
朝礼の時などにうずくまったり、倒れる子	19.0	56.2	9.9	10.7	1.7	2.5
視力の低い子	84.3	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0
左右の視力がひどくアンバランスな子	46.3	46.3	1.7	3.3	0.8	1.7
貧血の子	37.2	52.1	1.7	4.1	4.1	0.8
高血圧や動脈硬化の子	6.6	28.1	3.3	27.3	34.7	0.0
心臓病の子	9.9	69.4	3.3	14.0	1.7	1.7
糖尿病の子	10.7	28.9	0.8	52.9	4.1	2.5
神経性胃かいようや十二指腸かいようの子	33.1	26.4	2.5	32.2	4.1	1.7
脚気の子	0.8	9.1	0.8	72.7	12.4	4.1
腰痛の子	66.9	16.5	4.1	4.1	3.3	5.0
不登校(登校拒否を含む)の子	70.2	19.0	0.0	5.8	0.8	4.1

子どものからだの調査'95

〈結果表5〉

高 校 (107 校)

(数字は%)

からだの活動性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
朝からあくびをする子	34.6	37.4	0.9	1.9	24.3	0.9
授業中、目がトロンとしている子	33.6	34.6	0.0	3.7	27.1	0.9
授業中、居眠りをする子	43.9	39.3	1.9	0.0	14.0	0.9
保健室にねむりにくる子	29.9	54.2	3.7	9.3	2.8	0.0
遊び時間の時など、ボーッとして何もしない子	19.6	40.2	2.8	3.7	33.6	0.0
あまり汗をかかない子	17.8	30.8	1.9	1.9	45.8	1.9
すぐに「疲れた」という子	74.8	17.8	0.9	0.9	5.6	0.0

(数字は%)

からだの防御性	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
転んで手が出ない子	20.6	43.9	1.9	8.4	24.3	0.9
まばたきがにぶい子	10.3	34.6	0.9	8.4	45.8	0.0
ボールが目にあたる子	33.6	41.1	0.9	7.5	15.9	0.9

(数字は%)

直立姿勢や動作	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
椅子に座っている時、背もたれによりかかったり、ほおづえをついたりして、ぐにゃぐにゃになる子	55.1	27.1	0.0	3.7	13.1	0.9
「気をつけ」の姿勢の時、腹が前にでっばっている子	13.1	35.5	0.9	20.6	29.0	0.9
まっすぐな姿勢をした時、肩甲骨の左右の高さやでっぱり具合が対称的でない子	17.8	43.9	2.8	7.5	27.1	0.9
肩甲骨の左右の大きさにちがいがあがる子	9.3	36.4	1.9	14.0	37.4	0.9
脊柱異常とまではいなくても、背すじがおかしい子	34.6	42.1	1.9	7.5	13.1	0.9
つまづいてよく転ぶ子	13.1	48.6	1.9	20.6	15.0	0.9
内またのためによく転ぶ子	0.9	20.6	3.7	34.6	38.3	1.9
すぐ疲れて歩けなくなる子	21.5	25.2	0.9	30.8	20.6	0.9
まっすぐに走れない子	7.5	14.0	1.9	38.3	37.4	0.9
棒のぼりで足うらを使えない子	1.9	6.5	0.0	9.3	81.3	0.9
力が入りすぎて、ちょうどよい力で動作ができない子	11.2	12.1	1.9	24.3	48.6	1.9

(数字は%)

病気・けが・その他	最近ふえている	変わらない	減っている	いない	わからない	不明
平熱が36度未満の子	71.0	21.5	0.9	0.9	5.6	0.0
平熱が37度以上の子	8.4	40.2	8.4	30.8	12.1	0.0
奇声を発する子	8.4	15.0	1.9	58.9	15.9	0.0
指吸いの子	0.9	4.7	0.9	73.8	19.6	0.0
爪かみの子	5.6	24.3	3.7	37.4	28.0	0.9
よく腹痛や頭痛を訴えてくる子	76.6	22.4	0.0	0.9	0.0	0.0
そしゃく力が弱く、食物を飲み込んでしまう子	22.4	18.7	0.9	15.9	42.1	0.0
自分で症状を説明できない子	60.7	21.5	0.9	15.0	1.9	0.0
首すじがはったり、肩がこっている子	73.8	15.0	0.9	2.8	7.5	0.0
歯ならびの悪い子	54.2	37.4	3.7	0.9	3.7	0.0
歯ぐきの色がおかしい子	36.4	44.9	0.0	3.7	15.0	0.0
聴力の弱い子	15.0	71.0	2.8	6.5	4.7	0.0
異常と思われる肥満の子	31.8	48.6	6.5	12.1	0.9	0.0
鼻炎でプールに入れない子	9.3	29.9	0.9	26.2	32.7	0.9
鼻血が出やすい子	29.0	56.1	2.8	5.6	6.5	0.0
アレルギー性疾患の子	88.8	9.3	0.0	0.9	0.9	0.0
皮膚がカサカサの子	61.7	26.2	0.9	3.7	7.5	0.0
ぜんそくの子	48.6	44.9	3.7	1.9	0.9	0.0
胸郭異常の子	5.6	52.3	6.5	22.4	13.1	0.0
ちょっとしたことで骨折する子	43.9	43.0	0.0	6.5	6.5	0.0
骨折しても痛みを訴えない子	11.2	24.3	1.9	46.7	15.9	0.0
夜寝ている時、膝などの関節が痛くて眠れない子	1.9	15.0	0.0	36.4	46.7	0.0
オスグート・シュラッテル病 (膝の骨の異常発育で痛む)の子	14.0	32.7	4.7	37.4	11.2	0.0
朝礼の時などにうずくまったり、倒れる子	19.6	49.5	5.6	18.7	6.5	0.0
視力の低い子	71.0	27.1	0.9	0.9	0.0	0.0
左右の視力がひどくアンバランスな子	52.3	37.4	0.9	4.7	4.7	0.0
貧血の子	39.3	52.3	3.7	0.9	3.7	0.0
高血圧や動脈硬化の子	10.3	40.2	0.0	24.3	25.2	0.0
心臓病の子	20.6	62.6	0.9	14.0	1.9	0.0
糖尿病の子	12.1	29.9	0.0	51.4	6.5	0.0
神経性胃かいようや十二指腸かいようの子	51.4	30.8	0.0	13.1	4.7	0.0
脚気の子	0.0	10.3	0.9	72.0	16.8	0.0
腰痛の子	80.4	15.0	0.0	2.8	1.9	0.0
不登校(登校拒否を含む)の子	68.2	22.4	1.9	7.5	0.0	0.0

子どものからだの調査'95（乳幼児用）

〈調査用紙1〉

以下の各項目について、「実感」で該当する欄の番号に○をつけてください。

からだの活動性	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
朝からあくびをする子	A-1	0	1	2	3	4
保育時間中、目がトロンとしている子	A-2	0	1	2	3	4
遊び時間の時など、ボーッとして何もしない子	A-3	0	1	2	3	4
あまり汗をかかない子	A-4	0	1	2	3	4
すぐに「疲れた」という子	A-5	0	1	2	3	4

からだの防御性	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
転んで手が出ない子	A-6	0	1	2	3	4
まばたきがにぶい子	A-7	0	1	2	3	4
ボールが目にあたる子	A-8	0	1	2	3	4

直立姿勢や動作	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
椅子に座っている時、背もたれによりかかったり、ほおづえをついたりして、ぐにゃぐにゃになる子	A-9	0	1	2	3	4
「気をつけ」の姿勢の時、腹が前にでっばっている子	A-10	0	1	2	3	4
まっすぐな姿勢をした時、肩甲骨の左右の高さやでっぱり具合が対称的でない子	A-11	0	1	2	3	4
肩甲骨の左右の大きさにちがいがあの子	A-12	0	1	2	3	4
脊柱異常とまではいなくても、背すじがおかしい子	A-13	0	1	2	3	4
つまづいてよく転ぶ子	A-14	0	1	2	3	4
内またのためによく転ぶ子	A-15	0	1	2	3	4
すぐ疲れて歩けなくなる子	A-16	0	1	2	3	4
まっすぐに走れない子	A-17	0	1	2	3	4
棒のぼりで足うらを使えない子	A-18	0	1	2	3	4
力が入りすぎて、ちょうどよい力で動作ができない子	A-19	0	1	2	3	4

病気・けが・その他	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
平熱が 36 度未満の子	A-20	0	1	2	3	4
平熱が 37 度以上の子	A-21	0	1	2	3	4
奇声を発する子	A-22	0	1	2	3	4
指吸いの子	A-23	0	1	2	3	4
爪かみの子	A-24	0	1	2	3	4
よく腹痛や頭痛を訴えてくる子	A-25	0	1	2	3	4
そしゃく力が弱く、食物を飲み込んでしまう子	A-26	0	1	2	3	4
自分で症状を説明できない子	A-27	0	1	2	3	4
首すじがはったり、肩がこっている子	A-28	0	1	2	3	4
歯ならびの悪い子	A-29	0	1	2	3	4
歯ぐきの色がおかしい子	A-30	0	1	2	3	4
聴力の弱い子	A-31	0	1	2	3	4
異常と思われる肥満の子	A-32	0	1	2	3	4
鼻炎でプールに入れない子	A-33	0	1	2	3	4
鼻血が出やすい子	A-34	0	1	2	3	4
アレルギー性疾患の子	A-35	0	1	2	3	4
皮膚がかさかさの子	A-36	0	1	2	3	4
ぜんそくの子	A-37	0	1	2	3	4
胸郭異常の子	A-38	0	1	2	3	4
ちょっとしたことで骨折する子	A-39	0	1	2	3	4
骨折しても痛みを訴えない子	A-40	0	1	2	3	4
夜寝ている時、膝などの関節が痛くて眠れない子	A-41	0	1	2	3	4
オスグート・シュラッテル病 (膝の骨の異常発育で痛む)の子	A-42	0	1	2	3	4

子どものからだの調査'95（児童・生徒用）

〈調査用紙2〉

以下の各項目について、“実感”で該当する欄の番号に○をつけてください。

からだの活動性	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
朝からあくびをする子	A-1	0	1	2	3	4
授業中、目がトロンとしている子	A-2	0	1	2	3	4
授業中、居眠りをする子	A-3	0	1	2	3	4
保健室にむねむりにくる子	A-4	0	1	2	3	4
遊び時間の時など、ボーッととして何もしない子	A-5	0	1	2	3	4
あまり汗をかかない子	A-6	0	1	2	3	4
すぐに「疲れた」という子	A-7	0	1	2	3	4

からだの防御性	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
転んで手が出ない子	A-8	0	1	2	3	4
まばたきがにぶい子	A-9	0	1	2	3	4
ボールが目にあたる子	A-10	0	1	2	3	4

直立姿勢や動作	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
椅子に座っている時、背もたれによりかかったり、ほおづえをついたりして、ぐにゃぐにゃになる子	A-11	0	1	2	3	4
「気をつけ」の姿勢の時、腹が前にでっばっている子	A-12	0	1	2	3	4
まっすぐな姿勢をした時、肩甲骨の左右の高さやでっぱり具合が対称的でない子	A-13	0	1	2	3	4
肩甲骨の左右の大きさにちがいがあがる子	A-14	0	1	2	3	4
脊柱異常とまではいなくても、背すじがおかしい子	A-15	0	1	2	3	4
つまづいてよく転ぶ子	A-16	0	1	2	3	4
内またのためによく転ぶ子	A-17	0	1	2	3	4
すぐ疲れて歩けなくなる子	A-18	0	1	2	3	4
まっすぐに走れない子	A-19	0	1	2	3	4
棒のぼりで足うらを使えない子	A-20	0	1	2	3	4
力が入りすぎて、ちょうどよい力で動作ができない子	A-21	0	1	2	3	4

病気・けが・その他	マーク カード 記入欄	最近ふえ ている	変わら ない	減って いる	いない	わから ない
平熱が36度未満の子	A-22	0	1	2	3	4
平熱が37度以上の子	A-23	0	1	2	3	4
奇声を発する子	A-24	0	1	2	3	4
指吸いの子	A-25	0	1	2	3	4
爪かみの子	A-26	0	1	2	3	4
よく腹痛や頭痛を訴えてくる子	A-27	0	1	2	3	4
そしゃく力が弱く、食物を飲み込んでしまう子	A-28	0	1	2	3	4
自分で症状を説明できない子	A-29	0	1	2	3	4
首すじがはったり、肩がこっている子	A-30	0	1	2	3	4
歯ならびの悪い子	A-31	0	1	2	3	4
歯ぐきの色がおかしい子	A-32	0	1	2	3	4
聴力の弱い子	A-33	0	1	2	3	4
異常と思われる肥満の子	A-34	0	1	2	3	4
鼻炎でプールに入れない子	A-35	0	1	2	3	4
鼻血が出やすい子	A-36	0	1	2	3	4
アレルギー性疾患の子	A-37	0	1	2	3	4
皮膚がかさかさの子	A-38	0	1	2	3	4
ぜんそくの子	A-39	0	1	2	3	4
胸郭異常の子	A-40	0	1	2	3	4
ちょっとしたことで骨折する子	A-41	0	1	2	3	4
骨折しても痛みを訴えない子	A-42	0	1	2	3	4
夜寝ている時、膝などの関節が痛くて眠れない子	A-43	0	1	2	3	4
オスグート・シュラッテル病 (膝の骨の異常発育で痛む)の子	A-44	0	1	2	3	4
朝礼の時などにうずくまったり、倒れる子	A-45	0	1	2	3	4
視力の低い子	A-46	0	1	2	3	4
左右の視力がひどくアンバランスな子	A-47	0	1	2	3	4
貧血の子	A-48	0	1	2	3	4
高血圧や動脈硬化の子	A-49	0	1	2	3	4
心臓病の子	A-50	0	1	2	3	4
糖尿病の子	B-1	5	6	7	8	9
神経性胃かいようや十二指腸かいようの子	B-2	5	6	7	8	9
脚気の子	B-3	5	6	7	8	9
腰痛の子	B-4	5	6	7	8	9
不登校(登校拒否を含む)の子	B-5	5	6	7	8	9